

カトリック六甲教会 教会報

2018

4

No.556

主のご復活 お喜び申し上げます

2018年	教会暦		教会行事
4月	1	日	復活の主日 復活の主日のミサ 7:30 10:00 ご復活お祝い会 10時ミサ後
	6	金	教会掃除 (担当: 東灘南地区) 初金曜日ミサ 7:00 10:00 社会活動部連絡会&懇親会 10時ミサ後
	8	日	復活節第2主日 (神のいつくしみの主日) 教会学校 初聖体・祝福式 初聖体・祝福式お祝い会 10時ミサ後
	9	月	神のお告げ
	14	土	教会学校 入学式 社会活動部炊き出し
	15	日	復活節第3主日 教会掃除 (担当: 日曜班) 幼児を持つ親の集い 11:00 ふれあい広場 地区役員会① 12:00
	21	土	典礼部会 10:00
	22	日	復活節第4主日 世界召命祈願の日
	25	水	聖マルコ福音記者 大阪教区月修
	27	金	教会掃除 (担当: 灘北1地区 北・三田ブロック)
	28	土	春の黙想会 10:30~15:00 (ミサ 14:15~)
	29	日	復活節第5主日 施設管理部 11:30
30	月	教会受付休み (振替休日のため) 壮年会お喋り会	

神のいつくしみの主日 (復活節第2主日)

教皇ヨハネ・パウロ二世は2000年から、ご復活の主日の次の日曜日 (復活節第二主日) を「神のいつくしみの主日」と定め、この主日に神のいつくしみに対する特別の信心を行うよう望まれました。それは信者たちが聖霊の慰めの賜物を豊かに受け、神への愛と隣人への愛を強め、成長させることが出来るためです。この信心によって、信者たちはそれぞれ自分を反省して、罪のゆるしを得た後、兄弟姉妹をすぐに赦すよう促されます。

教皇ヨハネ・パウロ二世は、2002年6月13日の教皇庁内赦院謁見の際に、神のいつくしみの主日に免償を付与するための文書を認可されました。教皇庁内赦院は、教皇の意向を受けて、

2002年8月3日に、その文書を発行し、この主日に全免償を受けることができる旨を発表しました。

世界召命祈願の日（復活節第4主日）

神は、すべての人が誠実に自分の生涯を過ごすように招いています。ある人は社会の中で会社員、医師、看護師、教員、工場で働く人として、また夫、妻、父、母としてよい家庭を築くように、そして、ある人は神と人ともに仕える司祭、修道者となるように招かれています。神の招きはこのように人それぞれ異なりますが、自分に対する神の望みを祈りつつ探していくことが大切です。近年、司祭や修道者の減少、高齢化が進んでいます。とくに「召命祈願の日」には、司祭、修道者への招き(召命)に1人でも多くの方がこたえることができるように祈りましょう。

この日は、教皇パウロ六世によって1964年に制定されました。

2018年	教会暦		教会行事	
5月	3	木	聖フィリポ聖ヤコブ使徒	教会受付休み(憲法記念日のため)
	4	金		教会掃除(担当:灘北2地区 阪神ブロック) 初金曜日ミサ 7:00 10:00
	6	日	復活節第6主日 世界広報の日(献金)	受洗者・転入者への説明会 11:00
	11	金		教会掃除(担当:灘南地区 神戸西ブロック)
	12	土		社会活動部炊き出し 高山右近巡礼ツアー
	13	日	主の昇天	小教区評議会 12:00
	14	月	聖マチア使徒	
	16	水		大阪教区司祭評議会
	18	金		教会掃除(担当:灘西・中央地区)
	20	日	聖霊降臨の主日	幼児を持つ親の集い 11:00 ふれあい広場
	21	月		三日月会 ミサと懇親会 14:00
	23	水		大阪教区月修
	24	木		定期清掃
	27	日	三位一体の主日	地区役員会② 12:00 教会学校 遠足 祈りと音楽の集い 14:00
	31	木	聖母の訪問	聖母の訪問ミサ 7:00 10:30 ロザリオの祈り 10:00

地区会からのお願い

教会掃除当番について (金曜日午前9時/日曜日10時ミサ後)

現在、各地区で毎週金曜日、午前9時から聖堂、小聖堂、信徒会館などの掃除をしています(トイレ、入り口も含む)。

2ヶ月に1度は、清掃業社に普段行き届かないところの清掃をお願いしています。しかし、高齢化に伴って掃除参加者が年々減っています。地区によっては、3~4人しか来られない日もあります。お互いに連絡し合って少しでも多くの方が参加して下さると助かります。

各地区の掃除日は、2か月に1度程度です。7~8名参加いただければ30~40分で終了いたします。私たちの教会を、みんなで美しくいたしましょう。

2017年度 第5回小教区評議会 議事録

日時：2018年3月11日 12:00～13:15

参加者：アルフレド主任司祭、高山神父、中西、蛭田、井川(直)、井川(伸)、堤(福)、堤(緑)、阿部、阪田、荏原、北上、藤井、若山、林、崔岡、長瀬(記) (敬称略、順不同)

1. 主任司祭の挨拶
2. 協議事項
- ① 4教会共通ロゴマークについて [イエズス会使徒職拡大会議]
3. 報告事項
- ① 地区役員会(2月4日)報告 [地区役員代表]
- ② 聖体授与の臨時の奉仕者の集い(2月11日)報告 [典礼部]
- ③ 祈りと音楽の集い(2月18日)報告 [典礼部]
- ④ 第4回神戸地区大会実行委員会(2月18日)報告 [中西]
- ⑤ 東ブロック会議(2月25日)報告 [中西]
- ⑥ 10年後を見据えた六甲教会の重点(優先)課題についての報告 [各WG]
 - ・「イグナチオの霊性に基づく祈る共同体」WG
 - 1、神との生きた交わりを通して祈りを深める共同体、として、
 - 2、信徒の信仰、霊性を育てる共同体 として
 - ・「協働できる交わりの共同体」WG
 - ・「社会の中で福音を伝える共同体」WG
 - 1、掲示板及びその周辺の有効活用
 - 2、ホームページの拡充・SNSでの情報発信
 - 3、教会行事の再検討
- ⑦ 年間予定の追加・変更
- ※ 2018年第1回小教区評議会 5月13日(日)12時より 於：信徒会館第4会議室

<行事報告>

神戸地区社会活動委員会 静修会(2月24日)

静修会「現代社会と教会生活」に参加して

2月24日に住吉教会で行われたシナピス神戸主催の静修会に参加し、申繁時神父様の講話の後、各教会の信徒(主に社会活動をしておられる)の方々と分かち合いの時を持つことができました。副題が～私の召命物語から Part 2～とあり、申神父様のお話しには前篇があったのだとわかりました。恐らく Part 1では彼が成人洗礼を受け、召命に応えるまでが語られたのだらうと思います。今回は修道生活から司祭としてスタートされた頃のお話でした。

修道生活6年目に上長からの呼び出しを受け、司祭には向かないと言われた体験。これほどの挫折感は無かったであろうと想像します。その時の絶望感と、そこからの気づき(自分は神に心を開いていなかった)と再出発(それでも神は自分を諦めてはもらえない)が彼の最初の復活体験だったそうです。また在日としての通名から本名に戻して司祭登録しようとして味わわれたアイデンティティに関わる理不尽な挫折感と、それでも自分の思いに神の思いを優先させることで克服できたことも話されました。一方、今の教会は本音、つまり自分の苦しみを曝し、分かち合っている場所であるかどうかと問いかけられました。分かち合いというのは教会の生み出した素晴らしい機能だが、その本質が活かされているかどうか?互いの言葉を聴き取れているか?生活に疲れ、肩を落として教会の門をくぐっても、出て来る時は神に出会って満たされた思いで意気揚々と帰路

に着くことができる場所と言えるか？と私達に問われたのでした。投げかけられた問は重く、講話の後の話し合いでは、皆、困惑しながらも率直に自分を語る努力がなされて答えを模索したと思います。分かち合いの後、神父様は、十字架は恵みとも言えること、そしてそれは復活の希望に繋がるものでなければならぬと締め括られました。そのことを、続いて捧げられた四旬節第一土曜日のミサでわずかながら確認できたと言えるかもしれません。良い会に参加させて頂いたことを感謝します。

(久野)

～．

<行事報告>墓地っこ便り

3月4日に春の墓参と共同墓地への納骨式が行われました。

今年の冬は厳しい寒さが続き、墓地の散水栓が破裂して、周辺 氷だらけとなったこともありましたが、春の兆しに木々も芽吹き始め、共同墓地植込みの花々も元気を取り戻しつつあります。

墓地の桜並木もまもなく満開の候、皆様の墓参のお迎えを準備しております。

墓地の件でご意見、ご相談などがありましたら墓地委員会までお申し出ください。

(墓地委員会)

～．

聖イグナチオ学院基金へのご寄付のお礼

アルフレド神父様をはじめ、カトリック六甲教会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、六甲教会の皆様より聖イグナチオ学院基金宛に寛大な寄附をいただきましたこと、心から感謝しお礼申し上げます。また貴教会社会活動部や信徒個人の方からも毎年のようにご寄附を頂いておりますこと、合わせてお礼申し上げます。ありがとうございます。

今回皆様から頂いたご寄付で、聖イグナチオ学院の高校生 31 名に 1 年分の学費（授業料＋諸校納金＋制服・体操服）、加えて首都ディリからの生徒には 2 ヶ月分の交通費、学校所在地の村からの生徒には鞆や靴の購入費を支給することができます。皆様から頂いた奨学金の支給と受ける生徒の写真をお送りさせて頂きましたが、私たちはこれらすべての生徒の家庭を訪問し、また保護者とも数度面接し、学校で奨学金支給の可否について協議した後、このような援助を彼らは必要としていると判断されています。

東ティモールの聖イグナチオ学院は開校 6 年目を迎え、中学 1 年生から高校 3 年生まで全学年約 700 名の男女の生徒が揃い、今年 12 月には、はじめての高校卒業式が行なわれる予定です。しかし学校教育の営みは終わりがありません。毎年、新入生も入学して参ります。そして本校に通学するためにおなじように奨学金を必要とする生徒もでてきます。どうぞ今後とも、このような寛大なご援助をいただけますように、ご理解とご協力をお願いいたします。

聖イグナチオ学院は、「貧富の隔たりなく、学びたいすべての子どもたちに良い教育を提供できるきちんとした学校」の東ティモールにおけるパイロット・スクールになることを目指しております。

皆様の上に、神様の豊かな恵みがありますようにお祈りいたします。

どうぞ、よい御復活祭をお迎えください。

ありがとうございました。

東ティモール・聖イグナチオ学院 浦 善孝

浦神父よりお礼状が届きました。六甲教会信徒が支援をしている生徒たちをイグナチオホールにて紹介をしています。皆さんで彼らの成長を見守り、お祈りをお寄せください。



《 お 知 ら せ 》 教会のみなさまに知って頂きたい活動やお知らせです

★養成部より★

「春の黙想会」のお知らせ

日 時：4月28日、10時30分～15時（ミサ14時15分～）

場 所：六甲教会主聖堂

指導司祭：パウロ・セコ神父（カトリック屋形町教会司祭、スペイン外国宣教会）

参加費：無料

事前申込：不要

昼食は各自でご持参ください。お茶の用意はあります。

詳細は後日配布のポスター、チラシをご参照ください。

★典礼部より★

朗読奉仕者の方の事前練習について

昨年より、朗読奉仕者の方の事前練習を実施しておりますが、今回、7時半ミサ(日曜日)の方を対象に、次の通り行います。

- ・4月29日(日)から2ヶ月間、毎日曜日7時半ミサ前(7:10～7:20の間)に朗読の事前練習を行います。
- ・当日の7時半(日)ミサ担当の朗読奉仕者お二人の方は、7:10までに聖堂にお集まり下さい。
- ・事前練習の時は、典礼部担当者が同席させていただきます。

★社会活動部より★

4月 4日(水) 10時 手芸の集い(第1、第2会議室) どなたでも参加ご自由です。

4月 14日(土) 10時 炊き出し(イグナチオホール台所)

小野浜グラウンドにて、おじさん達のお話し相手や、配食だけでもOKです。

4月 15日(日)10時ミサ後 ふれあい広場(イグナチオホール)

4月 23日(月)9時30分 ともしび会 (イグナチオホール台所) 施設の子どもたちへのケーキ作り



六甲教会 大同窓会のお知らせ

六甲教会の教会学校・中高生会・青年会などに関わった方、大人になってから六甲教会に来た方、とにかく少しでも六甲教会にご縁のあった現在20～40代(1969～1997生)の皆様が対象の同窓会を開催いたします。懐かしい友人達やリーダー達と共に、懐かしい写真や歌で盛り上がりながら、皆で楽しい時間を過ごしましょう。

日時：2018年5月5日(土) 12時30分～16時頃(昼食付)

場所：イグナチオホール

会費：未定

ご夫婦・お子様連れでの参加も歓迎いたします。（託児スペース設置予定）

申込・お問い合わせは教会受付まで。



乳幼児を持つ親の集まりのお誘い

～安心して子どもを遊ばせながらお話できる場が作れたらいいなと思い立ち上げた集まりです。
0才から就学前のお子さんをお持ちのお父さん、お母さん方と色々な分かち合いをしています～

小さな子がいるとなんだかせわしく、余裕がないものです。この集まりでは親同士、子ども同士、親子でふれ合い、分かち合える場を目指しています。そして、皆がほっとできる癒しの場であって欲しいと考えています。

こんな成長を見ることができた等のお子さんの話や、ちょっと気になること、うれしかったこと、不安なこと、神様のこと、色んなことを皆さんと分かち合えたらと思います。

お子さんがいるからこそ、お子さんと一緒に教会に来て、ミサ後はリラックスしながら私たちと一緒にひと時をすごしませんか？

小さなお子さんと触れ合う喜びと、そのお父さん・お母さん方とお話する喜びを感じながら、少しでも先輩のママがお待ちしています。どうぞ気軽に参加してください。

日 時 毎月第3日曜日 10時ミサ終了後1時間位

場 所 第5会議室

持ち物 水筒、お手ふき、必要な方はお子さんの食べ物

※ その他詳細はチラシ、ポスターをご覧ください。

高橋、佐藤、布柴、宗行



みんなの広場

お庭だより 2018年 春

厳しい寒さが続いた冬に耐えた植物達でしたが、一気に春の訪れがやって来ました。桜の花も見事に満開、嬉しいご復活祭を迎えることが出来ました。

我が教会では鮮やかな黄色のリュウキンカの開花が春を一番に伝えてくれます。藤棚の後の桜の根元にラッパ水仙が1輪だけ咲いています。先日、トコトコ歩いていた3歳位の男の子がそれを指さし「きれいー！」と立ち止まりました。昨年のお聖体展示の準備の日、ミサの時間を調べに来た一人の留学生が聖堂に入ってきました。彼女から「イギリスではラッパスイセンは春を告げるイースターのお花です。」教わりました。何処も春は黄色から始まるようです。西南のフェンスに這う「モッコウバラ」の美しい葉の新芽が勢いよく展開しています。眞子内親王様のお印です。お誕生になられた年にはブームになり一般家庭の庭先に見受けられるようになりました。5月下旬頃優しい黄色の



八重の香しい花が咲きます。近づいてご覧ください。

1月、霜柱が立つ頃から毎日曜日3月末まで、西面の外壁に沿って慰霊碑の前をお手伝いくださる皆様と草抜きをしました。北西の角に聖堂の白い壁に馴染んだ枯れ木のキンモクセイは現代オブジェのようでしたが、虫が住みついたり、幹が倒れて事故につながる前に伐採しました。通りがかった7歳位の少年が話し掛けてきました。「どうして木を切ってしまったの？ 僕は毎日あの木を見るのが楽しみだったのに寂しいなあ・・・」草抜き隊のおばさん達の胸がキュンと痛みました。

「何かお手伝いしましょうか？」と恥ずかしそうに声を掛けてくれるIちゃん。落ち葉拾いをお願いしていましたが身長も伸び大きくなったのでマリア様のミニ花壇の植え替えとお手入れをお願いしました。お母様と楽しそうにお仕事をしてくれています。



昨年の秋にはイノシシが出没し、あちらこちら鼻ブルドーザで掘りかえされユリの根を食べられる騒動がありました。12月、春の花壇に植え替えをしました。今年の花壇は若者がデザインを受け持ってくださいったお陰で気候の変化以上に勢いのある華やかな花壇になっています。

4年目の花壇、お花見をしながらお弁当を広げていらした方も見受けられるようになり、子供達も花壇の周りに集まってきます。ミサ前後や聖歌の練習の前後に草抜きをしてくださっている方もあり、皆様に愛でられた植物達は梅雨になるまで元気に咲き続けてくれることでしょう。

今年も梅雨明けにはお水撒きや秋には落ち葉の整理のお手伝いもよろしくお願い致します。

施設管理部園芸係 マリア・クララ 貴島

教会報5月号の発行は、4月29日(日)です。 原稿は、4月15日(日)までに教会受付へご提出 ください。FAX及びメールでも受け付けます。 (広報部) http://www.rokko-catholic.jp renraku@rokko-catholic.jp	カ ト リ ッ ク 六 甲 教 会	
	〒657-0061	神戸市灘区赤松町3-1-21
	電 話	078-851-2846
	F A X	078-851-9023
	発 行 責 任 者	アルフレド・セゴビア
	編 集	広 報 部